

課外、研究活動充実 出資を活用

日本福祉大 ちたCFと連携協定

日本福祉大(本部・美浜町)は二十五日、学生や教員らによる課外活動や研究活動の充実を目指し、社団「ちたクラウドファンディング」と連携協定を結んだ。社団が運営し、知多半島に関連する事業に特化してインターネット上で出資者を募る「ちたクラウドファンディング(CF)」の

活用を推進する。社団は、いずれも半田市に本社を置くCAC、半田中央印刷、知多信用金庫の三者で組織。協定では、日福大が事業に取り組み「起案者」を社団へ紹介することや、社団側が助言や指導、事業の周知面で協力することなどを定めた。

日福大の丸山悟理事長は



協定書を交わす日福大の丸山理事長(右から2人目)と、社団ちたクラウドファンディングの代表者ら。半田市の知多信用金庫本部で

「教育や学生の活動など、さまざまな場面で活用していきたい」とあいさつ。半田中央印刷の竹倉幹雄社長も「不特定多数の人に出資してもらつことで、学生さんにも責任感などが生まれる。(ちたCFを活用し)人生の糧になる体験をしてもらえたら」と応じた。

(高田みのり)